牧会書簡注解

第1・第2テモテ書、テトス書

M.ディベリウス✣著　H.コンツェルマン✣改訂増補　山口雅弘✣訳

最初期キリスト者共同体形成の軌跡

異端との論争や教会の職制、礼拝における女性の振る舞い、寡婦に関する規律、キリスト者の家庭訓など、草創期の教会の姿を知る上で不可欠な牧会書簡。様式史・編集史研究の双璧によって生まれた古典的名著の待望の翻訳！

✣著者紹介　**M.ディベリウス**（1883-1947）　元ハイデルベルク大学教授。主著『福音書の様式史』。

✣改訂増補者紹介　**H.コンツェルマン**（1915-1989）　元ゲッティンゲン大学教授。主著『時の中心』。

✣訳者紹介　**山口雅弘**　1948年、札幌生まれ。日本聖書神学校、エピスコパル神学校、ハーバード大学神学校などで学ぶ。日本キリスト教団まぶね教会、大泉教会などで牧会。日本聖書神学校で新約聖書学を講じる（2000～2014年）。現在、日本キリスト教団隠退教師。著書　『イエス誕生の夜明け――ガリラヤの歴史と人々』（日本キリスト教団出版局、2002年）、『よくわかる 新約聖書の世界と歴史』（日本キリスト教団出版局、2005年）ほか。

A5判・並製・392頁・定価5,500円（本体5,000円+税）ISBN978-4-7642-7454-9 C3016